

令和元（平成 31）年度事業報告

令和元（平成 31）年度の事業は、第 16 期奨学生に対し奨学金給付活動を行うとともに、電子通信工学の振興に資する活動では、渡航助成事業 5 件、振興（イベント）助成事業 2 件及び調査・研究助成事業 1 件の助成を行った。

1 奨学資金の給付事業（公 1）

① 第 15 期奨学生に対し、四半期ごとに給付（合計 3,600 万円）

奨学金支給	支給日	奨学生数（名）	備考
第 1 四半期	H31. 3. 29	60	
第 2 四半期	R1. 7. 1	60	
第 3 四半期	R1. 10. 1	60	
第 4 四半期	R1. 12. 27	60	

令和 2 年 3 月 31 日で、第 16 期奨学生に対する給付活動は終了した。

② 「モノづくり」現場の見学会（交流懇談会）を開催

令和元年 9 月 3 日（火）、和歌山アイコム株式会社有田工場の見学会を開催した。有田工場では、会社概要の説明を受けた後、4 班に分かれて工場内を見学し、「モノづくり」現場と時間管理の大切さなど、奨学生にとって貴重な体験を得ることとなった。工場までのバス車内及び昼食会場では、就職活動や各専門業界の動向、研究活動、趣味など多岐にわたって活発な交流懇談が行われた。

また、交流懇談会に参加して工場見学で得た感想や不参加者からの随想・研究論文を編集して、第 16 期奨学生 60 名分の文集を作成し、関係者に配布した。

奨学生 60 名のうち参加者は 33 名

参加者	不参加(※)	内免除者(30 年度参加者)
44 名	14 名	2 名

※ 国際学会への参加等のため不参加

③ 本財団の奨学生を終了された方々等との「きずな」づくり

第 1 期生から第 16 期生に暑中見舞い及び年賀葉書を送付した。

2 渡航助成事業（公 2）

令和元年度は 8 件の申請を受理して、審査結果に基づき 5 件の助成を行った。

申請受理件数	助成件数	助成額	備考
8	5	45 万円	

渡航先国別件数(令和元年度助成分)

米国	オーストラリア	ニュージーランド	タイ	台湾
1 名	1 名	1 名	1 名	1 名

3 振興助成事業（公3）

助成申請のあった関西アマチュア無線フェスティバル実行委員会及び大阪市立大学に対して総額 543,939 円の支援助成を行った。

4 調査・研究助成事業（公4）

令和元年度調査・研究助成金交付対象者選考委員会で選考した1件に30万円の助成を行った。

5 その他

① 広報活動

財団の組織、財政、奨学生の募集、調査・研究助成対象者の募集、活動報告等についてホームページを利用して広報を行った。

② 奨学生並びに調査・研究助成金交付対象者等の募集

大学及び工業高等専門学校(計26校)へ周知・広報のために募集要項を郵送するとともに学校訪問を実施し、奨学生、調査・研究助成金交付対象者の募集等に関する周知を行った。

③ 研修会の開催

令和元年10月9日(水)、役員等研修会として、「大阪航空局神戸空港出張所」及び「エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)神戸事業所」の見学を行った。(参加者7名、事務局含む。)

附属明細書

令和元年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。